

第40回たいしょう人権展



NaNaKa



NaNaKa

人権をまちなかに！

Human Rights wide and open



A→Sa→☆

たいしょう人権展特設ホームページ

【開設時期】12月1日(日)～2025年1月31日(金)

「たいしょう人権展」についてもっと知りたい人は
ホームページをご覧ください。

<https://www.clab.company/jinken2024>



主催：大正・浪速・港・西区役所

協力：大正・浪速・港・西地域「人権展」

「人・愛・ふれあいプラザ」協力者会議

発行：一般財団法人大阪市コミュニティ協会

☎ 06-6125-3311 ✉ taisyo.jinken@gmail.com

発行日：2024年11月

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

たいしょう人権展は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

INTERVIEW

無限の可能性、無限の評価 ブレイクダンスが育む、尊重の精神

パリ五輪の新競技として注目を集めたブレイキン(別名:ブレイクダンス)。ダンスパフォーマンスで世界にチャレンジしていたShunjiさんは、現在、障がいのある方々とブレイキンを通じて新たな可能性を開いています。

ストリートから世界へ。 ブレイクダンスの魅力

—ブレイクダンスの魅力ってどんなところなんでしょうか?

自分自身を大切にすると同じく、相手を大切にするとところかな。

ブレイクダンスは、からだのあらゆるところを使って踊ったり、アクロバティックな動きを取り入れて表現することもあるダンスです。

一般的にダンスでは、左右対称であるとか、他者と動きが揃っているかどうかが重要視されていますが、ブレイキンの世界では独創性が重視され、人と異なる動きとその熟練度が審査の対象となっています。そういう意味から、苦手なことを克服するよりも、からだの特徴を活かして自分独自のものを創り出すことが大切になります。

身体能力の高さが求められると思うかもしれませんが、音楽性や即興性、独自性などの評価軸があるので、その中から「自分しかできない技」を見つけて、自分の技術を磨いていきます。そんな中で競い合うのと、お互いを否定しない、相手を尊重する関係性があると思います。



づっちゃん

ブレイクダンスで社会を 変える?!

—Shunjiさんは、舞台やCMなどでも活躍された後、障がい者とダンスを結びつける活動に力を入れていらっしゃいますが、この活動を始められたきっかけは何だったのでしょうか?

仕事になったダンスとの向き合い方がわからなくなった時期に「ダンスのプロ活動を辞めます」と、チームメイトに伝えました。そこからダンスとの付き合い方を考えるなか、「プロのダンスがまだ行き届いていない世界にダンスを届ける」という目的で、高齢者の方やこどもたち、障がい者にブレイキンを伝える活動を始めました。

「障がいがあるからダンスをするなんて無理だ」と自分や周りの人がブレイキをかけていたけれど、ブレイキンに出会い、自分のからだの特徴を活かして表現するという世界に出会った人たちのエネルギーに自分も動かされた気がしています。

本格的なダンスで活動する楽しさは障がいの有無に関係ないことだと思い、日本アダプトブレイキン協会を設立しました。



A→Sa→☆



高橋 俊二さん(ダンサー名:Shunji)
日本アダプトブレイキン協会 代表理事

プロフィール 高校でダンスを始める。ブレイクダンスチームMORTALCOMBATに所属し世界で活躍。その経験を活かし2019年、日本アダプトブレイキン協会を設立。

そもそも人と人は違うもの

高校時代の文化祭でブレイクダンスと出会いました。練習を重ね、大会にも数多く出場し経験を積み重ねました。身体能力に恵まれた選手を見て、自分との違いに悩むこともありましたが、大会での成功は必ずしも努力の量や才能の有無だけでは測れないと気づきました。

ブレイクダンスを通じて、人それぞれが異なる才能や個性を持っていることを実感しました。身体能力、リズム感、表現力、どれ一つとっても比べることのできないものです。この多様性は、まさに人権の根底にある考え方と通じます。誰もが自分らしく輝ける、その権利こそが大切なのです。

人の価値を測るものさしは一つではありません。身体能力だけでなく、創造性、努力、人間性など、さまざまな側面から評価されるべきです。ブレイクダンスの世界で学んだことは、私にとって、より多様な価値観を認め、尊重することの大切さを教えてくれました。



Mizuking

TOPICS

「たいしょう人権展」とは?

今から約40年前に、浪速区と大正区の境に架かる橋で差別落書き事件が発生しました。この事件をきっかけに、地域住民による人権啓発活動が活発化し、毎年開催される「人権展」へと発展しました。よりよい社会をめざす人々の願いが込められた取組です。

その後、4区の人権に関する取組を一層推進するため、1994年9月には4区の人権啓発推進協議会で区民宣言が採択されました。2012年以降は、主催者を浪速・西・港・大正地域人権展実行委員会から4区役所とし「人権展」

「人権展」が開催されました。1985年12月には浪速、西・港、大正の4区役所と4区の人権啓発団体、浪速同和教育推進協議会、大阪西企業同和教育連絡会、労働組合など幅広い団体等で組織した「浪速・西・港・大正地域人権展実行委員会」により「85なにわ人権展」が開催されて以降、毎年開催されています。

「人権展」開催への足跡

1983年2月21日、浪速区と大正区の境を流れる木津川に架かる大浪橋の橋梁に、差別落書きが書かれているのが市民の通報によって発見されました。差別落書きの書かれた大浪橋は車両や人の通行量も多く、人目につきやすい場所でした。このような場所にもかかわらず5か所に差別落書きが書かれていたということは、計画的な犯行であり、内容も同和地区住民の「人格」のみならず「生存権」をも否定するもので、極めて悪質な人権侵害事件でした。

この大浪橋差別落書き事件を機に、同和問題に対する理解と認識を深めるため、1984年3月に「人権展」が、また1985年2月に「ミニ人権展」が開催されました。

この大浪橋差別落書き事件を機に、同和問題に対する理解と認識を深めるため、1984年3月に「人権展」が、また1985年2月に「ミニ人権展」が開催されました。

「人・愛・ふれあいプラザ」協力者会議」の協力を得て、毎年、人権展を開催しています。

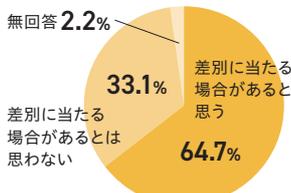
「合理的配慮」って?

障害者差別解消法が2024年4月に改正され、事業者の合理的配慮が「努力義務」から「義務」となりました。

合理的配慮とは、障がいのある人が他の人と同じように生活できるように、無理なく配慮することです。例えば、車いすを使用する人のためにスロープを設置したり、聴覚に障がいのある人に手話通訳を提供したりすることが挙げられます。合理的配慮によって、障がいのある人が仕事や教育、社会活動で活躍し、社会全体が誰もがいきいきと暮らせる環境をめざします。

Q. 合理的配慮が行われなければ「障害を理由とする差別」にあたると思いますか?

令和4年11月調査(n=3,000人)
出典:障害者に関する世論調査



EVENT

講演会 全員が主人公!ブレイキンの魅力

事前申込不要

日時 12月4日(水)
開場18:30 / 開演19:00 (20:30終演予定)

パリ五輪で新たにオリンピック競技に加わったブレイキン。ブレイクダンスの名で知られるダンススポーツは、誰もがそれぞれの形で踊ることができます。

「みんなと同じように踊る→自分の好きなように踊る!」
そんなダンスの本質から、一人ひとりが尊重される社会について考えます。

※講演会の様子は開催後、特設ホームページからも視聴できます。

《講演者》

高橋 俊二さん / 日本アダブテッドブレイキン協会
代表理事

(プロフィールはインタビュー(2ページ)に掲載)



体験セミナー 踊ってみよう!ブレイキン

事前申込

日時 12月8日(日) 対象 ダンス・ブレイキン初心者
子ども体験会 10:00~11:15 定員 子ども(小学生まで):15人
おとな体験会 11:30~12:30 定員 おとな(中学生以上):30人

ブレイキンは、年齢や体格を問わず、誰でも楽しめるダンスです。自分のペースで、からだを動かしてみませんか?

きっと、新しい自分に出会えます。

申込締切 12月5日(木)正午

《講師》

ヤッピー
Yappiiさん / DJ・ダンサー

器械体操からブレイクダンスに転身。表現を楽しむなかで障がい者ダンサーたちと出会い、ともに活動中。障がいの垣根を越えた音楽イベント「i&l(アヤナイ)」全4回を主催。

申し込みはこちら▶



クロストーク デジタル時代に生きる私たち ~コミュニケーションの光と影~

事前申込不要

日時 12月6日(金)
開場18:30 / 開演19:00 (20:30終演予定)

インターネットの普及により、私たちのコミュニケーションは大きく変化しました。しかし、その一方で、誹謗中傷や情報過多など、新たな問題も浮上しています。

今回のクロストークでは、インターネット社会がもたらした深刻な問題について、映画監督とソーシャルワーカーが、デジタル時代のコミュニケーションの光と影を多角的に分析。誰もが安心して暮らせる社会を築くために、私たちにできることを一緒に考えていきます。

デジタル時代のコミュニケーションに課題を感じている方や組織における人間関係の改善に関心のある方、ぜひ一緒に考えましょう。



《講演者》

日浦 明大さん / KAMUI ENTERTAINMENT
代表取締役監督



映画監督。新作「ゆび先の空」では、目の前にいる人間よりもSNSやネットメディアで書かれた情報を信用する社会の是非を問いかける。

坂根 匡宣さん / 一般社団法人ダイアログス
代表



社会福祉士・公認心理師として、司法福祉、就労支援などの分野で活躍。社会福祉の現場で培った経験と知識を活かして、多様な人々が共生できる社会の実現をめざす。

講演会・体験セミナー・クロストーク会場

藤井組 大正区民ホール
(大正区役所4階)

大正区千島2-7-95

大阪シティバス「大正区役所前」停留所すぐ



その他のEVENT

展示 12月4日(水)~10日(火) 7日(日)は開庁日 会場 大正区役所4階

●大正区内の小中学生の人権標語を展示

人権について考えたことや感じたことを、子どもたちの優しくて豊かな感性で標語で表現してもらいました。

●「大浪橋差別落書き事件」実物大模型の展示

RALLY 11月15日(金)~12月22日(日) (予定)

●歩けば、つながる デジタルスタンプラリー
大正区、浪速区、港区、西区を巡るデジタルスタンプラリーでまちあるき!

詳しくは4ページをご覧ください。



HOT LINE

相談窓口へお気軽にご相談ください

■大阪府インターネット誹謗中傷・トラブル相談窓口「ネットハーモニー」

☎06-6760-4013

月~土曜日16:00~22:00 第2日曜日13:00~18:00

(受付は終了時刻の30分前まで)

LINE相談▶

■いじめなどの電話相談窓口「^{じんけん}こどもの人権110番」法務省

☎0120-007-110 (フリーダイヤル)

月~金曜日8:30~17:15

LINE相談▶



■専門相談員による人権相談「大阪市人権啓発・相談センター」

☎06-6532-7830 ☎06-6531-0666

平日9:00~20:30(21:00相談終了) 日祝9:00~17:00(17:30相談終了)

※土曜日と年末年始(12月29日~1月3日)、施設点検日は休館

第40回 たいしょう人権展アンケート

下記URLを入力してアクセス!

右の二次元コードからも簡単にアクセスできます!

ご意見をお聞かせください

パソコン
スマホ
携帯で

URL

https://x.gd/question2024



アンケート期間:12月1日(日)~2025年1月31日(金)

歩けば、つながる

デジタルスタンプラリー

いつもの道を、ちょっとだけ特別な旅へ。まちに隠された、宝物のようなお店たち。そこで働く方々の笑顔と、品物にきっと心が温まります。

あなただけの物語が生まれる、そんな散歩を大正区、浪速区、港区、西区でいかがですか？

4つの区を楽しく歩きながら、新しい視点や出会いを発見できるイベントを実施します。参加方法は、「みまもりあい」アプリをダウンロードするだけ！スタンプを集めながら、地域の魅力に触れてみませんか。

開催期間 **11月15日(金)～12月22日(日)** (予定)

参加者には
抽選で景品を
プレゼント！

西区

② 第2ミロー

リサイクル品(雑貨、服、食器など)の販売



住所 西区南堀江4-5-8 西道頓堀ハイツB棟

アクセス 大阪メトロ千日前線

「西長堀駅」7-A出口から400m

営業時間 9:00～17:00

定休日 土・日・祝

港区

① あいらぶ工房 パン・カフェ



住所 港区港晴1-7-4

アクセス 大阪メトロ中央線

「朝潮橋駅」4番出口から700m

営業時間 10:00～16:00

定休日 土・日・祝



①～⑤の詳しい情報や、他のスポットはアプリでご覧いただけます！

浪速区

③ TSUMIKI COFFEE

カフェ

住所 浪速区幸町2-3-33

アクセス 大阪メトロ千日前線「桜川駅」

2番出口から120m

営業時間 10:00～17:30

定休日 火曜日 ※祝日の場合は翌日休み



大正区

④ スパイスカレー sononi

スパイスカレー・スムージー

住所 大正区三軒家西3-8-13

アクセス JR環状線、大阪メトロ鶴見緑地線「大正駅」から650m

営業時間 11:00～14:00

※売り切れ次第終了

定休日 日曜日



⑤ おばんざいカフェ まにまに

カフェ

住所 大正区泉尾2-21-7

ヨリドコ大正のつばん1階

アクセス JR環状線、大阪メトロ鶴見緑地線「大正駅」から1.2km

大阪シティバス「永楽橋筋」バス停から450m

営業時間 11:00～18:00

定休日 日・月曜日



「みまもりあい」アプリをダウンロードして参加しよう！

「みまもりあい」アプリは、地域のつながりを大切にし、住民同士が互いに支え合い、安心して暮らせる環境をめざしたものです。

アプリを通じて、あなたが助かる＆あなたが助ける 誰一人取り残さないネットワークにご参加ください。

※「みまもりあい」アプリは、個人情報の登録不要の無料アプリです。ダウンロードするだけですぐに利用できます(通信料は利用者負担になります)。

気になるスポットをチェック！



スタンプを集めよう！

ダウンロード方法の詳細はこちら▶



アプリのダウンロードはこちら▶



ひとりでも、ひとりぽつにしない
みまもりあいプロジェクト